

校長の自慢 『商店会』 とエコでコラボ

本校では地域との連携を重点課題として、「環境フェスタ」等の行事を行っています。また、定期的に地域清掃や地域を巻き込んだ防災訓練も実施しています。本年度は、新たに地元の出来島商店会の方々とエコ活動としてプランターづくりをコラボしました。



大阪市経済戦略局会報にも、本校と一緒に取り組む活動を含め出来島商店会の記事が掲載されています。



地元出来島商店会は、商店会の振興策として様々な取組をされています。その一つが6月8日(日)の出来島コミュニティ会館前広場で開

催された「にしよどがわ

商店街にぎわい再生イベント」。西淀川のゆるキャラ「に～よん」も参

加し、地元商店会の活性化に一役を買っていました。本校のエコ・コミュニケーション部(以下エコ部)もこのイベントに参加し、綿菓子を無料配布しながら、廃油の回収を呼びかけました。



そんな出来島商店会から、“プランターと一緒に花を植え、それを各商店の店頭にも並べることにより地域の緑化を図り、「エコフェスタ」を推進したい、そして何よりも、地域の皆さんにきれいな花を楽しんでもらいたい”という嬉しい申し出がありました。早速、商店会の方とエコ部員で70個以上のプランターに土を入れ、花の苗を植えました。エコ活動の啓蒙のためのポスターも商店会で作ってもらいました。また廃油回収の取組を紹介したプリントは本校で作成しました。協力してくださる店に飾ったプランターは、出来島の35店舗の店先で花を咲かせ、道行く方々を少し幸せな気分にしてきているようです。日頃の水遣りは各商店の方々にお願い



していますが、先日エコ部員がリヤ

カーに水を載せて、店先のプランターへの水遣りツアーを行ないました。水遣りの中で地域の方々から

「水遣りありがとう」

「しっかり勉強しいや」

等の声も掛けていただきました。こんな会話のちょっとした地域交流から、生徒たちも自分たちは地域の方々から支えられていることを体感しているようです。

商店会と本校の生徒がコラボから生まれた小さなエコの成果ですが、この一歩も大切だと思っています。

